


食品ニューテクノロジー研究会 2022年7月例会

終末糖化産物(AGE)研究の深化と新展開

—健康寿命の延伸を目指して—

日時： 2022年 7月 8日(金) 13:30～

会場： **食情報館** <東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル6階
日本食糧新聞社 内 1階はマルエツプチ>

参加費： 一般受講ご希望者 16,500円(税込) 
【食品ニューテクノロジー研究会 会員企業は無料になります】

座長： 石川県立大学 名誉教授 谷口肇氏

AGEは生体内で非酵素的に生産・蓄積され、多くの老年病の発生・進展に深く関わっていると考えられる。近年AGEに関する研究が大きく進展し、その蓄積を抑える食事や食品の開発が視野に入ってきている。本セミナーでは先ず老化とAGEの蓄積の関係、蓄積を抑える食の在り方について、山岸先生からお話し頂く。続いてヒトAGE受容体(RAGE)の大量生産技術の開発と、それを用いたAGE評価系の開発について、小堀先生からご紹介頂く。
皆様のご参加をお待ちしております。

【講演1】 13:40～ 14:50

老化の死神AGEに対峙する

—100年時代を生き抜く食事術

昭和大学 医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科学部門
(昭和大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科診療科長) 主任教授 山岸昌一氏
<http://www2.ktarn.or.jp/~syamagishi/>

【講演2】 15:00～ 16:10

刺激性AGEsの判別評価技術の開発と展望

農研機構 食品研究部門 食品健康機能研究領域

健康・感覚機能グループ長 小堀俊郎氏
(筑波大学生命環境系(連携大学院))

<https://www.naro.go.jp/laboratory/nfri/introduction/chart/0604/index.html>

【座長まとめ】 16:10～ 16:30

■Webセミナーも実施します。 ZOOM使用

日本食糧新聞社 (食品ニューテクノロジー研究会)
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル7階
TEL03-3537-1310 FAX03-3537-1071

終末糖化産物(AGE)研究の深化と新展開

- ◇ 申込後、請求書を発行いたします。
- ◇ メールにてご連絡いたします。

FAXで **03-3537-1071** までお申し込み下さい。

会社名			
住所	〒		
TEL			
○印	部署／お役職	お名前	E-mail or FAX
来場 / Web			
来場 / Web			
来場 / Web			

■ Webセミナーも実施します。 ZOOM使用



会場案内

最寄駅

- JR 東京駅 八重洲中央口 徒歩12分
- JR 京葉線 八丁堀駅 A3 出口 徒歩7分
- 東京メトロ日比谷線 八丁堀駅A5 出口 徒歩2分



日食 セミナー申込サイト



◎ セミナー情報 <http://bit.ly/Ke3If3>

◎ セミナー申込 <https://forms.gle/WLPzfqN365kAmeR79>

次回案内